

# シーンⅢ-15 燃料電池自動車導入推進事業

## 事業目的

利用段階で二酸化炭素を排出しない水素エネルギーの利活用を推進し、"東北における水素社会の先駆けの地"を目指します。

## 事業効果

CO<sub>2</sub>年削減効果

— t-CO<sub>2</sub>※

※燃料電池自動車の導入は、平成27年度末となるため、二酸化炭素の削減効果は平成28年度から発現するもの。(1台1年間当たり約3.1t-CO<sub>2</sub>(走行時))

## 事業内容

- ▶ 燃料電池自動車(FCV)を導入し、水素エネルギーの利活用促進に向けた普及啓発活動を行います。
- ▶ 平成27年度事業費 17,586千円 (うち環境税充当額 17,586千円)
- ▶ トヨタ自動車 MIRAI 購入 (2台)



### ◆燃料電池自動車(FCV)

- 車載タンクに充填された水素と空気中の酸素の化学反応によって発生した電気を使ってモーターを駆動させる自動車のこと。
- エネルギー効率が高く、走行時に二酸化炭素を排出しないため、環境負荷の低減につながる。
- 燃料充填時間や航続距離の面で、ガソリン自動車と同等の使い方が可能。

### 《トヨタ自動車 MIRAIの主な特徴》

航続距離	650km以上
水素タンク圧力	70MPa
水素充填時間	約3分
乗車定員	4名

## FCVの活用方法(案)

他自治体・団体等への貸出	県での活用
<ul style="list-style-type: none"><li>○市町村主催イベントでの展示</li><li>○テレビ局等団体主催イベントでの展示</li><li>○個人への貸出</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○県主催イベントでの展示</li><li>○県主催試乗会の開催</li></ul>